



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和6年6月26日 No.10

例年6月上旬には梅雨入り宣言がありますが、今年は、6月21日にやっと梅雨入り宣言がありました。平年より2週間以上遅い梅雨入り宣言となりました。

子どもたちは雨が降るとなかなか外で遊ぶことができませんが、教室で読書をしたり、クラスみんなでレクリエーションをしたりなど楽しく過ごしています。けががないように気を付けながら学校生活を送ってほしいと願っています。



防犯教室を行いました

6月17日(月)、ALSOKの方々を講師としてお招きし、2・4年生が防犯教室を行いました。

2年生では、連れ去り防止教室を実施していただきました。子ども達が連れ去り被害にあわないための合言葉「いかのおすし」について、説明をしていただきました。

“いか”は(知らない人に)ついていかない。

“の”は(知らない人の車などに)乗らない。

“お”は(助けを求め)大声をだす。

“す”は(知らない人から)すぐに逃げる。

“し”は(怖いことにあったり、見たりしたら)すぐに知らせる

言葉の意味をみんなで考え、怖い目にあったときにその言葉通りに行動ができるようにみんなで練習をしました。

いかない



のらない



おおごえでさけぶ



すぐにげる



しらせる



著作権の関係で、
掲載を控えさせていただきます。

4年生には、ひとりで留守番をしているときの注意点「いいゆだな」に気を付けると教えていただくとともに、地震などの災害が起こった時の対応や災害伝言ダイヤルの使い方やメッセージ内容を実際に自分で話してみる体験をしました。

連れ去りの被害またはひとりで留守番をする際の被害にあわないように、練習したことが万が一の時にも行動に移せるようにし、自分の身は自分で守れるようになっていきましょう。

ふれあい班活動がありました

6月18日(火)ふれあい班活動がありました。この日はあいにくの天気でしたが、体育館や教室内でドッジボールや宝探し、○×クイズなど、各班で考えた遊びを行いました。

はじめに6年生が1～5年生に遊び方の説明してから遊びました。違う学年の子ども同士、遊びを通じてつながりを深めるとともに話を聴くことやお互いを尊重することなどを学んでいました。チャイムが鳴るとリーダー役の6年生がみんなを集め、次のふれあい班活動のことを決めていました。6年生たちの自覚を持ってみんなをまとめようとする姿に頼もしさを感じました。



委員会集会がありました

6月19日(水)、児童会主催の委員会集会がありました。

各委員会が仕事内容を紹介しました。また、みんながより気持ちよく学校生活を送るために、各委員会から全校のみんなにお願いしたいことも発表していました。

各委員会はみんなにわかってもらうために、○×クイズや活動内容をスライドにまとめるなど発表方法を工夫していました。また、発表の練習をしっかりと臨んでくれました。

各委員会ともしっかり活動をしているので加佐登小学校のみんなが気持ちよく学校生活が送れています。

ありがとう。



としょかんまつりがはじまりました

6月20日（木）から6月28日（金）までとしょかんまつりを開催しています。

全校のみんなにもっと読書に親しんでもらおうと、図書委員会が中心となって企画し、実施しています。

全校児童にスタンプカードを配付してあり、昼休みに図書館で図書委員による読み聞かせを聞いたり、本を借りたりするとカードにスタンプが押されます。

期間中に4つ以上スタンプを集めると図書委員会からプレゼントがもらえます。

連日、50～70名の子どもたちが図書館を訪れ、図書委員の読み聞かせを聞いています。図書委員の読み聞かせはとても上手で、訪れた子どもたちは、集中して聞いていました。

この機会に図書館に足を運び、読み聞かせを楽しんだり、本を借りたりして、たくさん本に親しみましょう。



4年生が社会見学に行きました

6月21日(金)、4年生が社会科の授業の一環として、ばんこの里会館、三重県環境学習情報センターを見学しました。

<行程>

学校 ⇒ ばんこの里会館 ⇒ 三重県環境学習情報センター ⇒ 学校

ばんこの里会館では、三重県の伝統的工芸品万古焼について学習するとともに皿や湯呑み、マグカップに絵付け体験をしました。

三重県環境学習情報センターでは、昼食を取った後、エネルギー資源と生活とのかかわりや三重県の環境について展示物を見学しながらクイズに答え、楽しく学習しました。

また、買い物ゲームを通して、エコバックを利用することや量り売りなど、買い方を工夫することで食品トレイや包装紙などのごみの処理費用やごみ自体を減らすことができることを学習しました。

普段からごみを減らす工夫をして、環境に配慮した生活ができるといいですね。



